

2021年度 事業経営計画

2021年度の日本経済は、新型コロナウイルスに対するワクチンの接種が開始されたが、希望する国民への接種完了までには時間がかかる見通しであり、新型コロナウイルス感染症拡大が終息しない以上、ウィズコロナ期が長期化することが想定され、経済活動もそれを前提とした活動様式が定着すると見込まれる。こうした状況下、2020年度後半から自動車関連などではいち早く底を脱し、回復基調を辿っているが、その他業種との回復度合いに大きな差があり、引き続き感染拡大防止に配慮した経済活動とならざるを得ず、景気の回復も緩やかになると想定されている。

一方、鉄鋼業界では、海外鉄鋼需要において先行き不透明感が強いなかでも中国を含む主要国の需要増加により、前年度比増加が見込まれている。また国内鉄鋼需要においても、前年度の大減の反動もあり、建設業、製造業の回復に伴い持ち直しが期待されている。このような中、国内鉄鋼メーカーでは、脱炭素化に向けた設備投資や研究開発を今後加速させる一方、生産設備の集約化を推し進めており、厳しい経営環境は今後も続くものと考えられ、粗鋼生産量は前年度比では持ち直すものの回復ペースは緩やかと想定されている。

かかる経済環境の下、①事業継続性を踏まえた基幹設備の更新及び修繕 ②安全かつ丁寧な作業の更なる深化 ③財務体質の強化を重点施策とした予算を組み、人材の効率的活用及び借用地選別利用等、経費見直しによる変動費の5%削減を目指し、**3事業について下記の事業経営計画の達成に向けて邁進するものとする。**

記

1 倉庫事業部門

- (1) 鋼材物流のプロとしての自覚と責任を持ち、日常作業の安全・品質管理に万全を期し、完全無災害を達成する。
- (2) 能動的営業活動の推進や作業効率向上施策(揚荷能力及び回転率の向上並びに機動的な置場計画)を展開し、**取扱数量 456,000t(38,000t/月)、売上高 11億5,000万円**を目指す。
- (3) 事業継続性を確保するため、構内横持設備の更新、岸壁クレーンモーターのオーバーホールを実施する。

2 加工請負等事業部門

長い水際線と広い背後空間を有し、かつ、加工工場が構内に立地する弊社の特徴を生かした長尺品の加工及び受注実績を生かした幅広い業種への営業活動に努め、**売上高 4億円**を目指す。

3 施設利用事業部門

資産の効率的活用に努めると共にリサイクル関連事業の拡充により、**売上高 1億6,000万円**を目指す。